

ソフト事業（旧地方創生推進タイプ）

事業①	オーガニック SHIBATA プロジェクト			担当課	農林水産課、商工振興課
計画期間	令和４年度～令和８年度（５か年）	関連事務事業	地域農産物等ブランド化推進・輸出促進事業、有機農業産地づくり推進事業、SHIBATA ブランディング推進事業		
事業概要	新型コロナウイルス感染拡大による外食需要の低迷等により、米、和牛、イチゴの価格下落の課題がある中で、国内・国外で優位性をとれるブランド力が求められている。そこで、安心・安全・健康などをキーワードとしたオーガニック米の生産体制の確立やオーガニック素材を原料とした加工品などの製造、健康志向の高付加価値商品の開発、既存商品の改良などを行い、海外市場の要望に応えられる商材づくりを支援する。 また、海外の外食店をターゲットとして、プロモーションを展開し、販路を開拓するとともに、バイヤーを招聘した商談会、各店舗による物産展開催のほか、EC サイトでの販促やふるさと納税返礼品での活用なども行うことで国内市場においても販路拡大策を実施する。				
実施概要 (実績)	R4 年度	R5 年度		R6 年度	
	○オーガニック米産地形成（3,694 千円） ・オーガニック米栽培に向けた研修 ・オーガニック米実証圃の設置 等 ○加工品等製造、販路拡大（8,028 千円） ・オーガニック米を使用した加工品開発 ・「しばた大物産展」の開催 等 ○農産物等販路拡大（11,577 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・輸出及び販路拡大に向けたテストマーケティング 等	○オーガニック米産地形成（5,207 千円） ・地域おこし協力隊の登用 ・除草ロボットの研究 等 ○加工品等製造、販路拡大（9,426 千円） ・「しばた大物産展」の開催 ・既存商品の改良、低糖質商品の開発 等 ○農産物等販路拡大（15,586 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・販路拡大に向けたトップセールス 等		○オーガニック米産地形成（5,998 千円） ・国内外におけるオーガニック米の PR ・除草ロボットの研究 等 ○加工品等製造、販路拡大（8,630 千円） ・「しばた大物産展」の開催 ・既存商品の改良、高付加価値商品の開発 等 ○農産物等販路拡大（15,572 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・販路拡大に向けたトップセールス 等	
	R7 年度	R8 年度			
	○オーガニック米産地形成（3,799 千円） ・国内外におけるオーガニック米の PR ・除草ロボットの研究 等 ○加工品等製造、販路拡大（5,426 千円） ・各種イベント等による加工品等の PR ・既存商品の改良、高付加価値商品の開発 等 ○農産物等販路拡大（10,246 千円） ・米、新発田牛、越後姫の国内外キャンペーン実施 ・大阪新歌舞伎座とのコラボ公演 等				

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
有機 JAS 認証によるオーガニック米の生産面積	5ha	目	5ha	目	8ha	目	10.5ha	目	16ha	目	27ha
		実	5.5ha	実	9.5ha	実	10.3ha	実	10.9ha	実	—
オーガニック米の生産量	7 トン	目	7 トン	目	19.9 トン	目	25.9 トン	目	39.1 トン	目	65.5 トン
		実	21.5 トン	実	34.4 トン	実	30.2 トン	実	34.3 トン	実	—
新規加工品・特産品の数	0 アイテム	目	5 アイテム	目	15 アイテム	目	25 アイテム	目	33 アイテム	目	41 アイテム
		実	14 アイテム	実	28 アイテム	実	52 アイテム 43 ¹ アイテム	実	86 アイテム	実	—
米、牛肉、加工品、イチゴの総輸出金額	40,000 千円	目	42,000 千円	目	48,000 千円	目	51,000 千円	目	76,000 千円	目	111,000 千円
		実	58,116 千円	実	62,259 千円	実	61,103 千円	実	82,396 千円	実	—

事業費	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計
計画額	26,000,000 円	32,000,000 円	32,000,000 円	21,333,000 円	21,333,000 円	132,666,000 円
実績額	23,298,999 円	30,219,155 円	30,199,242 円	19,470,949 円	円	円
交付金充当額（1/2）	11,649,498 円	15,109,576 円	15,099,620 円	9,735,474 円	円	円

外部評価
・ 県の動向について情報収集しながら、海外の販路拡大先を検討し、事業を進めてもらいたい。
・ 各事業で様々な媒体を活用した情報発信が行われているが、引き続き周知を強化してもらいたい。

¹ 昨年度実績値集計において、誤りがあったため修正したもの。

事業②	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」復元・公開を契機とした～新発田の歴史・文化・食～発信プロジェクト		担当課	みらい創造課、商工振興課、観光振興課、新発田駅前複合施設、歴史図書館、文化行政課
計画期間	令和５年度～令和９年度（５か年）	関連事務事業	蔵春閣利活用事業、誘客促進事業、まちなか賑わい創出事業、中心市街地エリア空き店舗利活用推進事業、創業支援事業、商工観光団体支援事業、駅前複合施設利用促進事業、歴史図書館アーカイブズ事業、歴史図書館事業、茶会開催事業、市民文化会館文化創造事業	
事業概要	当市出身である大倉喜八郎の別邸「蔵春閣」が移築・復元されることを契機に、①大倉喜八郎＆食文化の発信事業②動態保存による「蔵春閣」の積極的利活用事業③「蔵春閣」を核とした中心市街地活性化事業④大倉喜八郎スピリット～進一層～の伝承事業の４事業を柱として、シビックプライドの醸成、まちの賑わい創出を図る。			
実施概要 (実績)	R5 年度	R6 年度	R7 年度	
	○喜八郎＆食文化の発信（7,474 千円） ・東公園内での「プレ雑煮合戦」開催 ・料理教室、「市民茶会」の開催 等 ○動態保存による利活用（8,756 千円） ・開館記念式典・イベントの開催 ・開館に合わせた PR 経費 等 ○中心市街地活性化（9,252 千円） ・ラッピングトレインの運行 ・蔵春閣と月岡温泉を結ぶバスの運行 等 ○進一層の伝承（850 千円） ・蔵春閣での創業塾実施 ・大倉喜八郎に関する講演会開催 等	○喜八郎＆食文化の発信（8,290 千円） ・東公園内での「雑煮合戦」開催 ・料理教室、「市民茶会」の開催 等 ○動態保存による利活用（8,239 千円） ・1 周年記念イベント・企画展の開催 ・移築工事報告書の作成 等 ○中心市街地活性化（9,693 千円） ・プロモーション映像の作成 ・民間団体等が実施するまちなかでのイベント開催補助 等 ○進一層の伝承（800 千円） ・蔵春閣での創業塾実施 ・大倉喜八郎に関する講演会開催 等	○喜八郎＆食文化の発信（6,731 千円） ・農産物を使ったカフェプランの実施 ・料理教室、「市民茶会」の開催 等 ※「雑煮合戦」は強風により中止 ○動態保存による利活用（4,900 千円） ・開館 2 周年イベントの開催 ・アートイベントや企画展の開催 等 ○中心市街地活性化（14,520 千円） ・海外からの団体ツアー誘致 ・中心市街地でのイベント開催支援 等 ○進一層の伝承（1,300 千円） ・蔵春閣での創業塾実施 ・偉人紹介ホームページの構築 等	
	R8 年度	R9 年度		

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度		R9 年度	
蔵春閣の団体見学回数	0 回	目	5 回	目	13 回	目	21 回	目	30 回	目	40 回
		実	94 回	実	92 回	実	78 回	実	—	実	—
本事業に関連した官民連携、民間主導の事業実施数	0 件	目	10 件	目	17 件	目	24 件	目	32 件	目	40 件
		実	11 件	実	18 件	実	25 件	実	—	実	—
蔵春閣入込客数	0 人	目	12,000 人	目	16,500 人	目	21,000 人	目	26,000 人	目	29,000 人
		実	65,737 人	実	31,134 人	実	24,207 人	実	—	実	—
蔵春閣貸館件数	0 件	目	30 件	目	62 件	目	68 件	目	75 件	目	82 件
		実	75 件	実	94 件	実	59 件	実	—	実	—

事業費	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
計画額	31,594,000 円	31,400,000 円	33,395,000 円	33,000,000 円	33,000,000 円	162,389,000 円
実績額	26,331,669 円	27,022,260 円	27,450,067 円	円	円	円
交付金充当額（1/2）	13,165,834 円	13,511,130 円	13,725,033 円	円	円	円

外部評価
・事業全体として、誰もが大倉喜八郎に触れやすい環境を整備することが必要だと考える。 ・大倉喜八郎スピリットの伝承やシビックプライドの醸成は、取組の成果が数字で表れるものではないと思うが、大事に続けてほしい。 ・市外からの来訪者の視点から、駐車場所を分かりやすく表示するといった工夫をしてもらいたい。 ・各事業で様々な媒体を活用した情報発信が行われているが、引き続き周知を強化してもらいたい。

事業③	人材・学・企業の結集「課題先進地からのデジタルイノベーション戦略」			担当課	商工振興課
計画期間	令和 5 年度～令和 9 年度（5 か年）	関連事務事業	市内産業 DX 推進事業		
事業概要	市内企業で課題となっている、人手不足解消、労働の付加価値創出に向けて、企業の事務や作業等の DX にかかる経費を補助することで、単純労働の省力化・効率化を図るとともに、若い労働者にとって魅力的な職場づくりにつなげる。 また、先進的な取組を行っている企業について、積極的に横展開することで、市全体での DX の気運を高め、自ら DX に取り組む企業の増加を目指す。				
実施概要 (実績)	R5 年度	R6 年度		R7 年度	
	○市内企業へのヒアリングを通じたニーズの把握 ○DX に係る経費の補助制度創出(1 年目)（R5 交付件数：6 件） ○市内事業者が無料で利用できる「DX あれこれ相談会」の実施	○DX に係る経費の補助制度創出を継続（2 年目）(R6 交付件数：6 件) (累計：12 件) ○市内事業者が無料で利用できる「DX あれこれ相談会」の実施		○DX に係る経費の補助制度創出を継続(3 年目) (R7 交付件数：7 件) (累計：19 件) ○市内事業者が無料で利用できる「DX あれこれ相談会」の実施	
	R8 年度	R9 年度			

重要業績評価指標 KPI（数値目標） ²	基準値	R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度		R9 年度	
「新潟県第４次産業革命分野・デジタルイノベーション創出連携支援計画 ³ 」構成大学等 ⁴ の県内就職率	41.8%	目	42.83%	目	43.89%	目	44.95%	目	46.02%	目	47.09%
		実	37.7%	実	37.4%	実	36.1%	実	—	実	—
本事業による付加価値創出額 ⁵	0 億円	目	1.5 億円	目	4.5 億円	目	10 億円	目	17 億円	目	25.5 億円
		実	6.3 億円	実	10.9 億円	実	17.6 億円	実	—	実	—
サテライトオフィスの立地件数	53 件	目	74 件	目	96 件	目	119 件	目	143 件	目	168 件
		実	97 件	実	105 件	実	109 件	実	—	実	—
人材・企業・大学等が結集するエコシステム ⁶ の形成	未達成	目	未達成	目	未達成	目	未達成	目	未達成	目	達成
		実	未達成	実	未達成	実	未達成 ⁷	実	—	実	—

事業費	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
計画額	2,500,000 円	3,250,000 円	3,200,000 円	3,150,000 円	3,100,000 円	15,200,000 円
実績額	2,033,000 円	2,108,000 円	922,000 円	円	円	円
交付金充当額（1/2）	1,016,500 円	1,054,000 円	461,000 円	円	円	円

外部評価
・各事業で様々な媒体を活用した情報発信が行われているが、引き続き周知を強化してもらいたい。

² 連携自治体（新潟県、長岡市、三条市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、魚沼市、南魚沼市、弥彦村、阿賀町、湯沢町、津南町）全体の KPI。

³ AI 等の先端技術を活用した企業の生産性向上の実現と、地域資源など多様な知見と組み合わせる新たなビジネスモデルや製品・サービスを生み出す「デジタルイノベーションの創出」に向けて、新潟県が令和元年に作成。

⁴ 新潟大学、長岡技術科学大学、新潟工科大学、長岡造形大学、長岡工業高等専門学校

⁵ 地域の特性を活かし、経済効果が認められる事業を知事が承認するもの。
 なお、知事承認事業 1 件あたり 0.5 億円として算出

⁶ 複数の企業がパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、業界の枠を超えて発展していく仕組み。

⁷ キネス天王入居企業と市内企業・市との連携は行われている（DX 相談会での相談役、デジタルツールの調達先・導入指導役として）

拠点整備事業（旧地方創生拠点整備タイプ）

事業①	道の駅加治川リニューアル整備計画					計画期間		令和 3 年度～令和 7 年度 (交付金活用事業は令和 3 年度のみ)					
事業概要	道の駅加治川の機能向上と施設運営体制の改革により、利用者の利便性を高め、ひとの流れの創出と消費拡大に資する観光拠点、さらには、農産物や特産品の販売拠点施設へと再生し、「交流人口の拡大による地域活性化」と「稼げる観光地づくり」を目指す												
重要業績評価指標 KPI (数値目標)		基準値	R3 年度		R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		
道の駅加治川入込客数		166,402 人	目	整備工事による 休館のため実績 なし	目	182,000 人	目	187,000 人	目	195,000 人	目	205,000 人	
			実		実	297,685 人	実	208,052 人	実	181,866 人	実	181,445 人	
道の駅加治川販売売上額		57,245 千円	目		目	85,000 千円	目	90,000 千円	目	95,000 千円	目	100,000 千円	
			実		実	170,628 千円	実	130,170 千円	実	127,140 千円	実	134,261 千円	
農産物直売所の契約農家数		90 人	目		目	95 人	目	100 人	目	110 人	目	125 人	
			実		実	55 人	実	64 人	実	62 人	実	61 人	
外部評価													
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。													

※交付金活用事業に関する外部評価は「R4 年度検証結果（R3 地方創生関係事業）」を御参照願います。

事業②	天王小学校空き校舎リノベーション事業					計画期間	令和４年度～令和８年度 (交付金活用事業は令和４年度のみ)					
事業概要	当市では「製造業」に重点を置いた企業誘致を進めてきた一方で、IT 関連、研究開発など「先端産業」の誘致が遅れており、若年層の就職動向には「希望する職種がないために地元就職を諦める」一定の傾向が見られていることから、市立天王小学校の空き校舎において防火対策工事や空調設備等の増設を行い、「シェアオフィス１型施設」として運営し、IT 関連の先端企業の「企業誘致」を行う。また、誘致企業と市内企業とのマッチングを通じて多様な就労環境を創出し、将来的な若者の U・I ターンや地元定着を図る。											
重要業績評価指標 KPI (数値目標)		基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
入居企業数（累計）		0 社	目	3 社	目	5 社	目	6 社	目	7 社	目	8 社
			実	7 社	実	9 社	実	13 社	実	13 件	実	－
入居企業に勤める UJI ターン移住者数（累計）		0 人	目	3 人	目	6 人	目	8 人	目	10 人	目	12 人
			実	0 人	実	0 人	実	0 人	実	0 人	実	－
市内で開業した（開業することが決まっている）入居企業数（累計）		0 社	目	0 社	目	0 社	目	0 社	目	2 社	目	2 社
			実	0 社	実	0 社	実	0 社	実	0 社	実	－
外部評価												
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。												

※交付金活用事業に関する外部評価は「R５年度検証結果（R4 地方創生関係事業）」を御参照願います。

事業③	大倉喜八郎別邸「蔵春閣」移築及び利活用による新発田駅前エリア活性化プロジェクト				計画期間		令和４年度～令和８年度 (交付金活用事業は令和４年度のみ)						
事業概要	・ 当市出身の実業家「大倉喜八郎」の別邸「蔵春閣」が当市に移築されたことを契機に、「動態保存」の考え方にに基づき、「ひとの流れ」を創出し、「観光客・来訪者に楽しんでもらえる仕組みをつくる」ため、施設の利活用に必要な附帯施設を整備し、賑わい創出を実現する。 ・ 蔵春閣と敷地内庭園を一体的に活用し、多くの人々が訪れる交流拠点施設とするため、施設の魅力向上、来訪者の利便性向上、バリアフリー対応に必要な整備、外構整備を行うとともに、必要な撤去工事や周辺の植栽、警備設備導入工事を実施する。 ・ 厨房機器やデジタルを活用した幅広い取組の実施に向けた備品類を導入する。												
重要業績評価指標 KPI (数値目標)		基準値		R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
蔵春閣入込客数		0 人		整備工事のため		目	12,000 人	目	16,000 人	目	20,000 人	目	24,000 人
				実績なし		実	65,737 人	実	31,134 人	実	24,207 人	実	－
駅前エリア来訪者数		3,250 人		目	5,000 人	目	7,000 人	目	8,000 人	目	9,000 人	目	10,000 人
				実	4,927 人	実	65,737 人	実	68,586 人	実	37,410 人	実	－
蔵春閣を活用した民間主体 の事業実施数		0 件		整備工事のため		目	20 件	目	30 件	目	40 件	目	50 件
				実績なし		実	59 件	実	76 件	実	49 件	実	－
外部評価													
・ 引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。													

※交付金活用事業に関する外部評価については「R5 年度検証結果（R4 地方創生関係事業）」を御参照願います。

事業④	旧本田小学校空き校舎リノベーション事業		担当課	商工振興課
計画期間	令和7年度（1か年）	関連事務事業	シェアオフィス整備事業	
事業概要	閉校した旧本田小学校をシェアオフィスに改修し、若者に人気のあるIT・DX・研究開発関係の企業を誘致することにより、若者の就労環境を整備し、UJIターンによる移住・定住を促進する。 また、令和4年度に「地方創生拠点整備交付金」を活用して整備したシェアオフィス「キネス天王」には既に複数の民間企業等が入居しており、2つのシェアオフィスによる新たな産業の創出も期待できる。			
実施概要 (実績)	R7年度			
	○建築物本体工事…建物の防火対策整備、事務室及び研究室の壁や床の改修 等 ○建築物と不可分な設備工事…電気設備整備（照明等）、機械設備整備（空調等） ○セキュリティ設備工事…監視カメラ、モニター、人感センサー整備 等 ○いちご栽培研究設備整備工事…いちご栽培研究設備整備			

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R7 年度		R8 年度		R9 年度		R10 年度		R11 年度	
入居企業数（累計）	0 社	目	4 社	目	7 社	目	9 社	目	11 社	目	12 社
		実	0 社	実	—	実	—	実	—	実	—
入居企業に勤める UJI ターン 移住者の数（累計）	0 人	目	0 人	目	2 人	目	4 人	目	6 人	目	7 人
		実	0 人	実	—	実	—	実	—	実	—
市内で開業した（開業することが決まっている）入居企業 の数（累計）	0 社	目	0 社	目	0 社	目	0 社	目	2 社	目	4 社
		実	0 社	実	—	実	—	実	—	実	—
入居企業と市内企業による連携 事業数（累計）	0 回	目	0 回	目	4 回	目	8 回	目	12 回	目	16 回
		実	0 回	実	—	実	—	実	—	実	—
入居企業に勤める人数（累計）	0 人	目	1 人	目	5 人	目	9 人	目	13 人	目	15 人
		実	0 人	実	—	実	—	実	—	実	—
旧本田小学校における市外からのスタディーツーリズムの 受入回数（累計）	0 回	目	0 回	目	2 回	目	4 回	目	6 回	目	8 回
		実	0 回	実	—	実	—	実	—	実	—

事業費	R7 年度
計画額	296,399,000 円
実績額	288,725,250 円
交付金充当額（1/2）	144,362,625 円

外部評価
・各事業で様々な媒体を活用した情報発信が行われているが、引き続き周知を強化してもらいたい。

地方創生整備推進交付金

事業①	持続可能な安心して暮らせる地域づくり計画					担当課	下水道課		
計画期間	令和２年度～令和７年度（６か年）		関連事務事業		新発田地区下水道整備事業、農業集落排水施設長寿命化事業				
事業概要	人口減少に対応し、農村地域の水質保全を継続することで、良質な農作物の生産基盤を安定させるとともに、他の関連事業とも密に連携を図ることで、持続可能なまちづくりや担い手確保などの農業振興を目指すため、公共下水道及び農業集落排水施設の広域化・共同化を実施し、併せて農業集落排水施設の機能更新、監視システムの統一を図る。								
実施概要 （実績）			R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	合計
	公共接続 （４地区）	計画	1,270m	3,220m	661m	420m	30m	0m	5,601m
		実績 ⁸	2,038m 2,027m	1,309m 1,034m	1,381m 1,326m	338m 134m	472m	518m	5,511m ⁹
	農排強化 （２地区）	計画	石喜実施設計	石喜機能更新	石喜機能更新 菅谷実施設計 菅谷機能更新	石喜機能更新 菅谷機能更新	菅谷機能更新	—	—
		実績	石喜実施設計	石喜機能更新	石喜機能更新 菅谷実施設計 菅谷機能更新	石喜機能更新 菅谷機能更新	菅谷機能更新	—	—

重要業績評価指標 KPI(数値目標)	基準値	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
経営 20 h a 以上の農地所有適格法人数	46 法人	46 法人	47 法人	48 法人	48 法人	60 法人	61 法人
		55 法人	55 法人	59 法人	60 法人	61 法人	62 法人
農業集落排水の維持管理費	75,666 千円	75,666 千円	75,666 千円	69,466 千円	66,366 千円	66,366 千円	60,566 千円
		75,666 千円	89,054 千円	76,852 千円	66,231 千円	50,828 千円	38,234 千円

事業費 ¹⁰	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
計画額	177,554,000 円	398,770,000 円	445,132,000 円	315,900,000 円
実績額	191,521,000 円	326,202,000 円	538,700,000 円	333,900,000 円
交付金充当額	95,758,000 円	163,101,000 円	269,350,000 円	166,950,000 円
事業費	R6 年度	R7 年度	合計	
計画額	318,000,000 円	335,539,000 円	1,990,895,000 円	
実績額	375,310,000 円	281,000,000 円	2,046,633,000 円	
交付金充当額	187,654,500 円	140,500,000 円	1,023,313,500 円	

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

⁸ 公共接続の実績値に算出誤りがあったため修正したもの。
⁹ 公共接続４地区の施工において、既設埋設物や河川、水路等の支障物により、下水道本管の埋設位置に変更が生じたため計画との差異が生じている。
¹⁰ 単年度ごとの「国の負担割合」が固定ではないため、年度によって交付金充当割合が異なるが、計画期間内で総事業費の 1/2 を上限交付される仕組みとなっている。

事業②	新発田市観光周遊ルートの形成による地域再生計画				担当課	地域整備課、維持管理課	
計画期間	令和４年度～令和８年度（５か年）		関連事務事業	市道改良整備事業、林道維持管理事業			
事業概要	新発田 I.C を起点に主要観光地を結ぶ市道外ヶ輪公園大手門線及び林道新発田南部線を整備し、観光周遊ルートを形成することで観光客の交通利便性を高め、市全体の観光振興を図る。						
実施概要 （実績）		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	
	市道外ヶ輪公園大手門線事業進捗率 （事業費ベース）	2.3%	35.5%	44.7%	68.9%	—	
	林道新発田南部線事業進捗率 （事業費ベース）	25.0%	50.0%	75.0%	100.0%	—	

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R4 年度		R5 年度		R6 年度		R7 年度		R8 年度	
市全体の観光客数の増加	1,842,673 人	目	2,673,200 人	目	2,680,000 人	目	2,383,000 人	目	2,653,000 人	目	2,660,000 人
		実	1,842,673 人	実	2,025,573 人	実	1,947,571 人	実	1,913,435 人	実	—
新発田城の入込客数の増加	46,274 人	目	48,375 人	目	48,500 人	目	48,625 人	目	48,750 人	目	48,875 人
		実	46,274 人	実	52,398 人	実	58,451 人	実	57,783 人	実	—

事業費 ¹¹	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	合計
計画額	16,400,000 円	173,245,000 円	64,000,000 円	185,355,000 円	87,000,000 円	526,000,000 円
実績額	16,400,000 円	173,245,000 円	60,605,000 円	118,168,000 円	円	円
交付金充当額	8,200,000 円	152,500,000 円	3,400,000 円	35,041,000 円	円	円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

¹¹ 単年度ごとの「国の負担割合」が固定ではないため、年度によって交付金充当割合が異なるが、計画期間内で総事業費の 1/2 を上限交付される仕組みとなっている。

デジタル実装型（TYPE1） ※本交付金はデジタル実装に係る交付金のため、単年度補助

事業①	公式LINEアカウントサービス機能拡充事業			担当課	みらい創造課
計画期間	令和7年度		関連事務事業	ホームページ広報事業	
事業概要	当市では、防災・衛生環境問題の問合せやスタンプラリーイベントのデジタル化、当市を応援するファンクラブである「しばたサポーターズクラブ」登録の簡易化を求める声が上がっている。そこで市内外問わず広く普及している LINE を活用して、ワンストップで情報の受け取りや手続きができる機能を構築し、安全で住みやすいまちづくりを提供するとともに、紙媒体で課題となっていた情報発信の継続性、イベント参加者の利便性向上を図る。				
実施概要 (実績)	令和7年度整備内容				
	○新発田市公式LINEアカウントサービスの機能拡充（7月1日運用開始） 【機能等】 ・防災メニュー拡充（各地区のハザードマップ・避難所の確認機能、マイタイムラインの作成機能の追加） ・ごみメニュー拡充（ごみ収集日通知機能の追加） ・デジタルスタンプラリー機能新設（スタンプラリーの電子化） ・しばたサポーターズクラブ会員機能新設（会員登録の簡易化、情報発信機能の拡充）				

重要業績評価指標 KPI（数値目標）			R7 年度	R8 年度	R9 年度
市公式 LINE 登録者数	目標値		20,000 人	25,000 人	30,000 人
	実績値		22,707 人	－	－
ごみ収集通知利用者数	目標値		1,000 人	1,250 人	1,500 人
	実績値		2,258 人	－	－
しばたサポーターズクラブ会員数（LINE）	目標値		150 人	200 人	250 人
	実績値		306 人	－	－
市内登録者の利用満足度	目標値		3.2 ポイント	3.8 ポイント	4.2 ポイント
	実績値		3.8 ポイント	－	－
市外登録者の利用満足度	目標値		3.2 ポイント	3.8 ポイント	4.2 ポイント
	実績値		3.6 ポイント	－	－

事業費	R7 年度
計画額	2,475,000 円
実績額	2,475,000 円
交付金充当額（1/2）	1,237,000 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

事業概要【公式LINEアカウントサービス機能拡充事業】		
事業概要	当市では、防災・衛生環境問題の問合せやスタンプラリーイベントのデジタル化、当市を応援するファンクラブである「しばたサポーターズクラブ」登録の簡易化を求める声が上がっている。そこで市内外問わず広く普及しているLINEを活用して、ワンストップで情報の受け取りや手続きができる機能を構築し、安全で住みやすいまちづくりを提供するとともに、紙媒体で課題となっていた情報発信の継続性、イベント参加者の利便性向上を図る。	
具体サービス	【市内向けサービス機能】 ・防災メニュー拡充（各地区のハザードマップ、避難所の確認機能、マイタイムラインの作成機能の追加）・・・市民が平時から災害に備えられる環境の整備。 ・ごみメニュー拡充（ごみ収集日通知機能の追加）・・・地域の衛生環境向上による市民が快適で住みやすいまちづくり。 【市外向けサービス機能】 ・デジタルスタンプラリー機能新設（スタンプラリーの電子化）・・・参加事業所の管理負担削減、参加者の利便性向上。 ・しばたサポーターズクラブ会員機能の新設（会員登録の簡易化、情報発信機能の拡充）・・・市外の方へ継続的な情報発信を行い、市のイベント参加による地域活性化やU I J ターンの促進。	新発田市公式LINE  ごみ収集日通知機能 デジタルスタンプラリー機能 しばたサポーターズクラブ会員機能
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①市公式LINE登録者数 ②ごみ収集通知利用者数 ③しばたサポーターズクラブ会員数（LINE）	【アウトカム指標（成果指標）】 ①市内登録者の利用満足度 ②市外登録者の利用満足度

事業③	窓口 DXSaaS 導入事業		担当課	情報政策課
計画期間	令和 7 年度	関連事務事業	住民情報システム標準化・共通化推進事業	
事業概要	市民と市の重要な“接点”である窓口業務では待ち時間や手続の負担が増加しており、窓口業務の円滑化とそれに伴う行政サービスの向上などの窓口業務改革が喫緊の課題になっている。窓口 DXSaaS を導入し、待ち時間や申請書記入などの負担を減らし、マイナンバーカードの利便性を享受できる、書かない・待たない「住民にやさしい窓口」を構築し、さらなる行政サービスの向上を目指す。			
実施概要 (実績)	令和 7 年度整備内容			
	○窓口 DXSaaS の導入（3 月 9 日運用開始） 【機能等】 ・窓口対応機能（マイナンバーカード等を活用し、申請書記入の手間・負担を軽減 等）			

重要業績評価指標 KPI（数値目標）			R7 年度	R8 年度	R9 年度
窓口 D X S a a S システム利用件数	目標値		700 件	13,300 件	31,000 件
	実績値		300 件	－	－
窓口利用者利便性アンケート調査	目標値		3 ポイント	3.5 ポイント	4 ポイント
	実績値		未計測	－	－

事業費	R7 年度
計画額	12,941,000 円
実績額	12,926,310 円
交付金充当額（1/2）	6,463,155 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

事業概要【窓口DXSaaS導入事業】		
事業概要	市民と市の重要な“接点”である窓口業務では待ち時間や手続の負担が増加しており、窓口業務の円滑化とそれに伴う行政サービスの向上などの窓口業務改革が喫緊の課題になっている。窓口DXSaaSを導入し、待ち時間や申請書記入などの負担を減らし、マイナンバーカードの利便性を享受できる、書かない・待たない「住民にやさしい窓口」を構築し、さらなる行政サービスの向上を目指す。	
具体サービス	【①窓口対応機能：書かない窓口実現の機能】 ・市民の待ち時間を削減し、窓口の混雑を緩和する。 ・マイナンバーカードや基幹システムデータを活用し、市民の申請書を書く手間・負担を軽減する。 ・ナビゲーション機能により、市民に分かりやすく・もれなく必要な手続きを案内する 【②基幹データ連携機能：基幹システムとのデータ連携に係る機能】 ・入力されたデータを基幹システムのデータと連携し、各窓口で利用できるようにすることで、市民が申請書に何度も記入する必要がなくなり、手続の負担の大幅な軽減が見込める。 ①と②を併せて実装することで、市民が複数の窓口で何度も書く手間を省くことができ、手続の負担軽減と待ち時間の短縮に繋がる。	★サービス利用の流れ
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ①窓口DXSaaSシステム利用件数	【アウトカム指標（成果指標）】 ①窓口利用者利便性アンケート調査

事業④	新潟県災害時の避難者支援システム導入事業			担当課	地域安全課
計画期間	令和 7 年度	関連事務事業	防災対策推進事業		
事業概要	災害時には、短期間に集中して多数の住民が避難することから、避難所受付の混乱、避難情報報告の遅延が発生し、また在宅、車中泊等の避難所外の避難者も発生するが詳細な把握が困難で十分な支援が届きにくい。このため、県と市町村で連携し、避難所や避難所外の避難者を速やかに把握するためのシステムを、構築することで、避難者への速やかな物資支援や情報提供し、被災者支援の高度化を図る。				
実施概要 (実績)	令和 7 年度整備内容				
	○避難所支援システムの導入（3月25日運用開始） 【機能等】 ・避難所受付機能（スマートフォンアプリ等を利用し、避難所での受付を速やかに行うことができる） ・避難所外避難者機能（避難所以外の場所に避難したスマートフォンアプリから避難場所等を登録できる） ・避難者情報共有機能（避難所及び避難所外の登録情報を集計し、県や市町村の災害対策本部において確認できる） ・通知機能（市町村や県から避難者のスマートフォンアプリへ情報発信できる） ・避難所報告機能（避難所開設状況等を市町村の災害対策本部へ報告できる）				

重要業績評価指標 KPI（数値目標） ¹²			R7 年度	R8 年度	R9 年度
専用アプリのダウンロード数	目標値		2,000	90,000	180,000
	実績値		2,167	－	－
イベント等における専用アプリの啓発回数及びイベントの参加人数	目標値		1 回（50 人）	1 回（50 人）	2 回（100 人）
	実績値		0 回（0 人）	－	－
システムを用いた防災訓練の実施回数	目標値		1 回	1 回	2 回
	実績値		0 回	－	－
受付時間（短縮される時間） ¹³	目標値		25 秒（3 分 30 秒）	25 秒（3 分 30 秒）	25 秒（3 分 30 秒）
	実績値		未計測	－	－
システムを使った避難訓練に参加した住民の満足度	目標値		65%	70%	80%
	実績値		未計測	－	－

事業費	R7 年度
計画額	338,000 円
実績額	325,000 円
交付金充当額（1/2）	162,500 円

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

事業概要【新潟県災害時の避難者支援システム導入事業】		
事業概要	災害時には、短期間に集中して多数の住民が避難することから、避難所受付の混乱、避難情報報告の遅延が発生し、また在宅、車中泊等の避難所外の避難者も発生するが詳細な把握が困難で十分な支援が届きにくい。このため、県と市町村で連携し、避難所や避難所外の避難者を速やかに把握するためのシステムを構築することで、避難者への速やかな物資支援や情報提供し、被災者支援の高度化を図る。	
具体サービス	【避難所支援システム】 1.避難所受付機能 マイナンバーカード、スマートフォンアプリ等を利用し、避難所での受付を速やかに行う機能 2.避難所外避難者機能 在宅や車中泊等の場所に避難した避難者がスマートフォンアプリから避難場所等を登録できる機能 3.避難者情報共有機能 避難所の受付や避難所外避難者が登録した情報を集計し、県や市町村の災害対策本部において確認できる機能 4.通知機能 市町村や県から避難者のスマートフォンアプリへ通知（情報発信）できる機能 5.避難所報告機能 避難所の開設状況等を市町村の災害対策本部へ報告できる機能	
主な KPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ① 専用アプリのダウンロード数 ② イベント等における専用アプリの啓発回数及びイベントの参加人数 ③ システムを用いた防災訓練の実施回数	【アウトカム指標（成果指標）】 ① 受付時間（短縮される時間） ② システムを使った訓練に参加した住民の満足度

¹² 連携自治体（新潟県及び県内 30 市町村）全体の KPI

¹³ R4 に県で実施した訓練では、通常の紙による受付方法に係る受付時間は 1 人あたり 3 分 55 秒を要した。

○令和 6 年度以前にデジタル実装タイプを活用した事業

交付金活用年度における実施内容及び事業費等については当該年度の検証結果を御参照ください。

事業①	行政手続のオンライン化による住民サービスの向上事業		担当課	情報政策課
計画期間	令和 5 年度～令和 7 年度 (交付金活用事業は令和 5 年度のみ)	関連事務事業	住民情報システム管理運営事業	
実施地域	村上市・胎内市・ 新発田市 ・阿賀野市・加茂市・三条市・魚沼市・上越市・妙高市・佐渡市・阿賀町・湯沢町の 10 市 2 町による広域連携事業（主たる申請者は阿賀町）			
事業概要	県が主導し、連携する自治体が住民や事業者の行政手続に係る大幅な利便性の向上、行政側の標準化・効率化を図るため、窓口来庁又は郵送での申請が必要であった行政手続について、申請手続や手数料等の支払いから行政内部の事務処理まで一貫してオンラインで処理できる仕組みを整備する。			

重要業績評価指標 KPI（数値目標）			R5 年度	R6 年度	R7 年度
住民、事業者から電子申請・予約が行われた割合（各市町の達成状況）	目標値		30%	50%	70%
	実績値		29.4%	25.2%	23.2%
手数料等支払時に電子収納が利用された割合（各市町の達成状況）	目標値		未設定	40%	60%
	実績値		未計測	0.5%	0.59%
LINE を経由して電子申請・予約がされた割合（各市町の達成状況）	目標値		10%	20%	30%
	実績値		0%	0.1%	0.1%
住民・事業者の利用満足度（各市町の達成状況）	目標値		3 ポイント	3.5 ポイント	4 ポイント
	実績値		未計測	未計測	4.3 ポイント
共同調達による削減費用（12 市町合計）	目標値		12,513,600 円	25,027,200 円	25,027,200 円
	実績値		12,513,600 円	25,027,200 円	25,027,200 円
共同でシステムを導入したことによる、手続ページ作成等業務削減時間（12 市町合計）	目標値		10,000 時間	15,000 時間	20,000 時間
	実績値		10,400 時間	10,480 時間	10,400 時間
システムの共同利用により削減された事業者・市民の操作方法習得に要する時間（12 市町合計）	目標値		10,000 時間	15,000 時間	20,000 時間
	実績値		4,853 時間	13,443 時間	34,311 時間

※「数値目標」、「目標値」は広域連携で事業に参画する 12 市町で共通となっています。

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

事業②	AI チャットボット導入事業			担当課	市民生活課、環境衛生課
計画期間	令和 6 年度～令和 8 年度 (交付金活用事業は令和 6 年度のみ)	関連事務事業	住基・印鑑登録管理事業		
事業概要	市民向けに AI チャットボットを構築、導入し、市民生活に密接な関わりを持つ、市民生活課や環境衛生課の特に問い合わせが多く、市民の方が知りたい情報を 2 4 時間 3 6 5 日いつでもアクセスし、簡単に照会できるようにすることで、市民サービス向上を図るとともに、業務時間中の電話での問い合わせ件数が削減され、業務の効率化を図ることができる。				

重要業績評価指標 KPI（数値目標）			R6 年度	R7 年度	R8 年度
AI チャットボットの年間利用件数	目標値		5,000 件	10,000 件	13,000 件
	実績値		6,623 件	14,122 件	－
AI チャットボットの利用満足度	目標値		50%	60%	70%
	実績値		69%	69%	－

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

事業③	窓口キャッシュレス決済導入事業			担当課	会計課
計画期間	令和 6 年度～令和 8 年度 (交付金活用事業は令和 6 年度のみ)	関連事務事業	窓口キャッシュレス決済導入事業		
事業概要	キャッシュレス決済の国を挙げての推進等により、民間での支払については、キャッシュレス決済が普及してきているが、当市市庁舎等における支払については、現金での取扱いとしているため支払方法の選択肢がなく、利用者にとって不便であり、また会計に係るサービス提供にも時間を要している。この事業を実施することで、利用者の支払の選択肢を増やし、サービス提供の時間短縮を図る。				

重要業績評価指標 KPI (数値目標)			R6 年度	R7 年度	R8 年度
キャッシュレス決済比率	目標値		10%	15%	20%
	実績値		11.61%	14.55%	－
窓口での会計時間の短縮 (年間)	目標値		288 時間	433 時間	577 時間
	実績値		228 時間	565 時間	－
キャッシュレス決済サービスに利用者満足度	目標値		70%	72%	74%
	実績値		85.4%	73.2%	－

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

事業④	電子契約システム導入事業			担当課	契約検査課
計画期間	令和 6 年度～令和 8 年度 (交付金活用事業は令和 6 年度のみ)	関連事務事業	電子契約システム導入事業		
事業概要	現在、契約の締結においては、紙の契約書を作成し、双方ともに記名押印している。今後、電子契約システムを導入することで、市が契約書をアップロードし、受注者は承認するだけで契約締結となる。これにより、受注者は、来庁に伴う移動時間や電話連絡等、契約事務に係る時間を削減することができる。併せて、印紙税、封筒及び切手代といった直接コストの削減も図る。				

重要業績評価指標 KPI (数値目標)			R6 年度	R7 年度	R8 年度
電子契約件数	目標値		122 件	670 件	730 件
	実績値		38 件	661 件	－
受注者の印紙税削減額	目標値		230,000 円	3,523,000 円	3,628,000 円
	実績値		325,200 円	2,532,200 円	－
紙での契約締結から電子契約にすることで削減される業務時間	目標値		37 時間	201 時間	219 時間
	実績値		11.4 時間	242.4 時間	－
電子契約を行った受注者の満足度	目標値		3 ポイント	3.5 ポイント	4.0 ポイント
	実績値		4.5 ポイント	4.6 ポイント	－

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）

※寄附実績については、市ホームページにて公表の同意を得ている企業情報を掲載していますので、そちらをご覧ください。

事業①	新発田市まち・ひと・しごと創生推進事業（企業版ふるさとしばた応援寄附金）		担当課	みらい創造課
計画期間	令和 7 年度～令和 13 年度（7 か年）	関連事務事業	創業支援事業、まちなか賑わい創出事業、子ども医療費助成事業、防災対策推進事業、地方創生基金費	
事業概要	市の人口減少を克服し、魅力ある地方創生を実現するため、その目標を示す「新発田市デジタル田園都市構想総合戦略」で設定する「仕事をつくる」「人の流れをつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「魅力的な地域をつくる」事業（全施策）に対して、「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」を活用し、市外企業から取組に必要な寄附を募るもの。			
実施概要 （実績）	R7 年度	R8 年度	R9 年度	
	○仕事をつくる ・新規創業者向け創業支援金の交付。 ・新規創業希望者向けセミナーの開催。 ○人の流れをつくる ・中心市街地における官民連携イベント開催。 ○結婚・出産・子育ての希望をかなえる ・0～18 歳以下の子どもの医療費を助成。 ○魅力的な地域をつくる ・自主防災組織や避難所運営への活動支援。 ・避難所の備蓄物資の充実。			
	R13 年度			

重要業績評価指標 KPI（数値目標）	基準値	R7 年度		R8 年度		R9 年度		R13 年度	
新発田 DMO 活動による総輸出金額	60,928 千円	目	78,371 千円	目	86,208 千円	目	90,518 千円	目	110,025 千円
		実	82,397 千円	実	－	実	－	実	－
新発田管内の就職率（パートを除く）	33.4%	目	35.0%	目	35.5%	目	36.0%	目	38.0%
		実	30.7%	実	－	実	－	実	－
新発田市全体の観光客集	1,842,673 人	目	2,653,000 人	目	2,660,000 人	目	2,667,000 人	目	2,695,000 人
		実	1,913,435 人	実	－	実	－	実	－
スポーツ＆カルチャーツーリズムによる施設利用者数	4,369 人	目	4,891 人	目	5,065 人	目	5,240 人	目	6,110 人
		実	9,786 人	実	－	実	－	実	－
合計特殊出生率	1.33	目	1.35	目	1.36	目	1.37	目	1.41
		実	1.16 ¹⁴	実	－	実	－	実	－
標準学力検査	小学校 51.6 中学校 48.8	目	小学校 51.6 中学校 48.8	目	小学校 51.8 中学校 49.0	目	小学校 52.0 中学校 50.0	目	小学校 52.0 中学校 50.0
		実	小学校 50.6 中学校 47.5	実	－	実	－	実	－
市民参画に関する取組実績件数	64 件	目	66 件	目	67 件	目	68 件	目	72 件
		実	62 件	実	－	実	－	実	－
自主防災組織率	91.5%	目	91.9%	目	92.1%	目	92.5%	目	93.3%
		実	94.9%	実	－	実	－	実	－

¹⁴ 合計特殊出生率は例年 9 月末頃に確定するため、直近（R6 年度）の数値を記載。

【仕事をつくる】

	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
寄附受領額	600,000 円			
寄附金充当額	600,000 円			
基金積立額 ¹⁵	0 円			

【人の流れをつくる】

	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
寄附受領額	10,100,000 円			
寄附金充当額	100,000 円			
基金積立額	10,000,000 円			

【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

	R7 年度	R8 年度	R9 年度	合計
寄附受領額	1,400,000 円			
寄附金充当額	1,400,000 円			
基金積立額	0 円			

【魅力的な地域をつくる】

	R7 年度	R8 年度	R9 年度	
寄附受領額	2,100,000 円			
寄附金充当額	2,100,000 円			
基金積立額	0 円			

【基金管理】

	R2～R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度
基金積立額 (利子含む)	120,415,507 円	10,019,467 円		
基金取崩額	85,473,000 円	10,000,000 円		
基金残額	34,942,507 円	34,961,974 円		

※R2～R6 年度の欄は、旧企業版ふるさと納税制度に基づいた受領額と取崩額の合計を記載しています。
 ※R7 年度の基金管理としては、【人の流れをつくる】事業に受領した寄付金のうち 10,000,000 円と、利子 19,467 円を合わせた金額を積み立て、R2～R6 年度に積み立てた基金から 10,000,000 円を取り崩して充当しました。

外部評価
・引き続き計画的に事業を進めてもらいたい。

¹⁵ 寄附金の基金積立は制度上認められており、当市においては新発田市地方創生基金条例を定め、積立額に係る利子も含め計画的・効率的な基金管理を行っています。